

議会報告会 報告書

実施日時	平成29年8月2日（水曜日） 19：30～21：00		
会 場	安曇川公民館 2階視聴覚室	来場者数	26人
役割分担	班長 森脇徹 司会進行 澤本長俊 報告 (総務) 吹田薫 (文教福祉) 大槻ゆり子 (産業建設) 高木広和 (予算) 秋永安次 (意見書) 今城克啓 記録 今城克啓 受付 河越安実治 挨拶ほか 石田議長		
<p>●報告に関する質疑応答</p> <p>意見 このように、市民の意見を共有できる場があることはありがたい。</p> <p>問 就学援助制度の拡充を求める請願は、3名の議員のみが賛成で否決されたのはなぜかわからない。貧困が社会問題となっており、全国162自治体で前倒し支給が決定している。高島市教育委員会も、1点目の前倒し支給については理解してもらえた。必要な時期に支給できないのは問題である。</p> <p>答 要望は受け止めさせていただきます。今後もしっかり検討したいと考えます。</p> <p>問 高島市若者定住促進条例について、期限を撤廃したのはなぜか？条例である以上、期限を切るべきでは？</p> <p>答 当条例は来年3月までとなっていますが、若者定住促進施策は高島市にとって重要であり、当面延長する必要があると考えます。いつまで延長するかは決められておりません。</p> <p>問 期限があるということで、業者に急かされたり、定住について十分な検討ができなかったことがある。移住・定住対象者は県外にいることも多く、情報が得られにくい。</p> <p>答 執行部に使いやすい制度にするように伝えます。</p>			

問 議第 24 号の高島市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例について、どのように改正されたのか？何かが追加されたのか？

答 重大な問題が発生した場合、新たな審議会を開催することが追加されました。

問 議第 7 号の財産の処分とはどういう意味か？補助金交付やおつきん椋川開催との関係は？

答 地元が集会所として引き受けたものです。

問 市の借金は今後どうしていくのか？

答 基金を取り崩すなどにより、市の借金を減らしていく方針です。

問 赤字をどうしていくのかなど、市財政全体の方針についてはどのように考えているのか？

答 市の長期財政計画によれば、合併特例債の終了や地方交付税の減少など厳しい状況の中、公共施設を減少させたり公有財産を売却するなどによって、市財政を運営していく方針となっています。

市の計画とは別に、議員それぞれについての意見もあると思いますが、それはこの場で述べることはできません。

意見 高島市は平和の意思表示をするまちであるため喜んでいるが、日米地位協定の抜本的改正を求める意見書の提出を求める請願について、オスプレイもいつ墜落するかわからないので、国の専管事項として片付けずに意見を出してほしい。

原発問題についても地方議会が声を上げるべきであり、再稼働について高島市議会が意見を出さないのは残念である。

●意見交換

問 多くの会派があるため、議会広報で全員の質問が記載されると、一般質問特集のようになってしまう。政務調査費をどのように使用したかも出すべきである。

答 議会広報は従来からの内容を引き継いでいる。もっと内容を濃いものにすべきというご指摘は理解できます。政務調査費については、各会派から議長に報告することになっています。

意見 20万㎡のメガソーラーができる計画があるが、高島市にはこれ以上のメガソーラーは不要ではないか？高島市にとって水や源流は大変重要であり、森林が伏流水を育てている。広範囲の森林を伐採してつくるべきではない。大雨時の災害も全国で発生している。雇用も創出しない。高島市民の皆様も問題意識がだんだん大きくなっている。高島の水や景観など環境の素晴らしさを評価して移住を希望する方も周りに多く、高島のよき財産を残していく必要がある。これらのことから、この計画が実行されないようにしたいと考えるが、法律や条例が追いついていないため、署名活動を始めている。

意見 青柳にはカバタがあり、きれいな水が湧いていることは、生まれてから当たり前であったが、当たり前のことが壊れることは怖いことである。安曇川は日本有数の珍しい三角州があり、水量が滋賀県で一番多い。その水を育む森林が大雨を吸収している。裸地にすると、木の根もなくなり、地下水脈が壊される。議員から市民にこのことを伝えてほしい。

答 この意見は議員間で共有させていただきます。

問 ゴミ処理の対応について防災無線で急に聞いた。議会ではどのように進められてきたのか？

答 ダイオキシン問題で市民の方々に心配をかけました。その後、環境センターのあり方検討委員会が立ち上がり、もっとシンプルな施設にするように答申がありました。あと8年間は新しい焼却場をつくることは難しく、他市にゴミを出す事例もあることも踏まえて、市長が検討されてきました。議会でも多くの質問がありましたが、議決事項ではないため、議会としては報告を受けたということです。

問 Uターンのためには企業誘致が必要であるが、遅れている。堅田に行くだけでも渋滞している不利な条件でもある。しかし、風光明媚で観光に適しているため、企業誘致の方向性を検討すべきである。長浜市のように、企業誘致の部署もない。高島市の魅力を活かして、Uターンして市内で生活できるような施策を強力に進めてほしい。

例えば、今津町の市役所跡地や安曇川の平和堂跡地の活用について、方向性や進捗状況がわかれば子や孫も安心である。高島市の明るいニュースがほしい。

答 人口減少が厳しすぎるため、ご指摘のとおり明るい方向に向ける施策が必要であると考えています。

現在の取組みについて、国道161号線のバイパスを国土交通省に要望して四

半世紀が経ちますが、国会議員を通してこれまでにない予算がつき、北小松では橋脚の設置が進んでいます。

若者定住については議員間で議論をしてきたところであり、働く場所を確保するための企業誘致が重要であると考えています。具体例では、エクシブの誘致が進められており、200人の新たな雇用が見込まれます。

安曇川駅前については、議会から市に有効活用を求めており、それを受けて市が企業誘致を検討しています。

新旭風車村については、グランピングを経営するという1つの提案が民間から市に出てきました。さらに、琵琶湖を船着き場にするように県の要望に入れてあります。

このように、明るい方向に少しずつ前向きに進んでいる状況です。

高島市議会議長 石田 哲 様

平成29年8月31日

高島市議会報告会開催要綱第9条第1項の規定により提出します。

2班 班長 森脇 徹